



議会だより

2010

No. 80

題字は大神中3年 さとう佐藤 ともみ智美 さんです

平成22年5月27日(年4回発行) 発行: 大分県日出町議会 電話: 73-3135



もう25回目になります(かれい祭りのテープカット)

目次

● 平成22年度当初予算	2
● 常任委員会	4
● 一般質問	5
● 議会構成決まる	11
● 町民の声	12

87億3,600万円(前年比11億6,900万円増)

61億8,182万円(前年比1億9,821万円増)

予算特別委員会で集中審議

議会では、当初予算・補正予算ともに予算議案に関しては、議員全員が委員会の壁を越えて、発言・質問し、納得いくまで議論する必要があると考え、今定例会では予算特別委員会を設置しました。また、6月定例会から常任委員会として予算委員会を設置することになります。今後も町政発展と議会の活性化に向け、様々な議会改革に取り組んでいきます。

主な歳入

町税は、総額で28億2,558万円、前年比191.8万円の減額です。個人町民税と固定資産税は若干の増加が見込まれるものの、法人町民税は依然として企業収益回復の兆しが見られないことから減少が見込まれます。

個人町民税	10億9,740万円
法人町民税	2億2,130万円
固定資産税	12億9,358万円
軽自動車税	5,710万円
たばこ税	1億3,600万円
特別土地保有税	20万円
入湯税	2,000万円

地方交付税は、国の新たな地方財政対策により、地域活性化・雇用等臨時特例費が創設されたことで、前年と比べ2億3,000万円増加し、総額で20億7,000万円です。

普通交付税	19億5,000万円
特別交付税	1億2,000万円

基金繰入金は、予算が不足する場合などに基金を取り崩して会計に入れるものです。主要2基金の繰入総額は2億1,910万円、前年比722万円の増額です。

財政調整基金	1億1,910万円
減債基金	1億円



第2次行財政改革プランのスタート

町債は、豊岡小学校増改築・耐震補強事業とまちづくり交付金事業の増加により、大幅な増額となっています。町の借入金である町債の総額は9億5,740万円、前年と比べ3億3,150万円の増額となりました。

学校改築事業債	2億3,750万円
土木・消防債	3億1,990万円
臨時財政対策債	4億円

特別会計内訳

会計区分	平成22年度 当初予算額	平成21年度 当初予算額	増減額
国民健康保険※	28億7,504万円	27億3,859万円	1億3,645万円
簡易水道	1,010万円	1,331万円	▲321万円
公共下水道事業	8億10万円	8億662万円	▲652万円
老人保健	1万円	100万円	▲99万円
土地区画整理事業		3,789万円	▲3,789万円
漁業集落排水事業	3,471万円	6,124万円	▲2,653万円
農業集落排水事業	3,726万円	3,824万円	▲98万円
介護保険※	21億5,836万円	20億3,980万円	1億1,856万円
後期高齢者医療	2億6,625万円	2億4,693万円	1,932万円
合計	61億8,183万円	59億8,361万円	1億9,822万円

※介護保険特別会計はサービス開始以来利用者が年々増え、22年度も大幅な増額、国民健康保険特別会計も大幅増、2特別会計の合計は50億円を越えました。このまま増え続ければ今後利用料や保険料にも影響を与えることが懸念されます。介護予防や成人病予防の各種施策の推進は、これからの大きな課題です。

平成
22年度

一般会計当初予算 特別会計当初予算

議会費 1億3,259万円 1.5%

議員報酬	6,473万円
職員人件費	5,583万円
補助費物件費	1,203万円

公債費 借入金22年度返済分) 10億 948万円 11.6%

平成21年度末の公債費残高は
見込み額で 92億4,535万円

総務費 10億6,724万円 12.2%

人件費	7億9,834万円
うち非常勤職員報酬	2,803万円
町長等職員給料	2億7,971万円
職員手当	1億4,658万円
共済組合負担金	1億1,864万円
退職手当組合負担金	2億1,393万円
物件費	1億7,149万円
補助費等	9,030万円

教育費 10億1,765万円 11.6%

小学校費	4億6,692万円
うち豊岡小学校建設	3億8,316万円
中学校費	4,095万円
幼稚園費	1億1,920万円
社会教育費	1億5,845万円
保健体育費	1億3,867万円
教育委員会、事務局費	9,346万円

予備費災害復旧費 3,398万円 0.3%

民生費 28億7,044万円 32.9%

児童手当	2億3,270万円
子ども手当	3億 411万円
児童運営費(保育園児就学補助)	6億3,385万円
障がい者や老人支援など	4億4,554万円
国保・後期高齢者医療へ繰出し	1億8,710万円
介護保険へ繰出し	2億9,342万円
川崎・豊岡保育園改築事業	1億4,135万円
補助費等	3億2,996万円
物件費・貸付金等	8,156万円
人件費	2億1,845万円

消防費 5億 654万円 5.8%

杵築速見消防組合負担金	4億5,609万円
消防団員報酬	829万円
消防施設費	964万円
人件費	1,508万円

平成22年度
一般会計当初予算
歳出
目的別内訳と主な項目
()は構成比

土木費 9億4,809万円 10.9%

道路新設改良(工事請負費)	1億6,390万円
場谷駅周辺整備を中心とする まちづくり交付金事業 (工事請負費)	1億2,000万円
公園管理委託料	1,700万円
公共下水道繰出金	2億2,464万円
町営住宅購入・修繕工事請負費	4,525万円
人件費	1億1,908万円

商工費・農林水産業費 3億9,148万円 4.5%

商工会、観光協会助成金	900万円
かれい祭行事負担金	700万円
農林業振興の負担金補助金	2,481万円
農業土木工事請負費	1,650万円
水産振興の負担金補助金	729万円
原山・大神浄化センター繰出金	4,433万円
人件費	1億7,195万円

衛生費 7億5,851万円 8.7%

乳幼児医療・不妊治療費助成等	6,703万円
ごみ収集運搬手数料	7,786万円
合併処理浄化槽設置補助(21基)	735万円
秋草葬斎場 藤ヶ谷清掃センター等負担金	1億3,339万円
杵築速見環境浄化組合負担金	2億 302万円
人件費	1億3,429万円

常任委員会

総務

指定管理者の条例制定

地方自治法改正により指定管理者制度が導入され、公の施設の管理運営の委託先が民間事業者を含めた幅広い団体に委託することが可能となりました。町でも施設の管理運営をより効率的・効果

的に行なうため、指定管理者制度が活用できるような条例の制定をします。

職員、特別職の給与の減額を一年間延長

給与月額を全職員5%、町長を12%、副町長・教育長を8%減額していますが、依然として厳しい財政状況です。行財政改革および県下の状況をみて、平成23年3月31日ま

で1年間延長します。

的山荘の土地を取得

的山荘の敷地1万810㎡を1億2500万円で購入する議案です。昨年の12月議会です。認められていたが、地域文化財・歴史的遺産活用事業として取得するため、町有財産条例により所有者と契約をするので議会の議決が必要となりました。

産業建設

二の丸館の設置および管理

町の観光産業、文化などの振興および地域の活性化を図ることを目的とし、必要な事項を定めた条例の制定をしました。また、管理運営は、指定管理者を選定して行なう予定です。

日出町に

あらたな土地

社会厚生

小学校PCを周辺機器と一体整備

日出港内の川崎字松ヶ鼻に公有水面埋立てにより、1万3134㎡のあらたな土地が生じたので、その旨の確認と字の区域を変更しました。

豊岡、藤原、川崎、大神各小学校にパソコン40台ずつ、また、ソフトなどの周辺機器を整備するもので、全会一致で可決。

います。

22年度一般会計予算審議は、増加する医療、介護費を指摘。国の施策による諸経費の増額や急速に進む少子高齢化が町の取り組みを上回る速度で進行していることは理解できませんが、今後、全庁を上げてより本格的に抑制策に取り組むよう意見しています。

また、杵築市日野の産廃の異臭、八代観音川の白濁について状況を見定め、関係機関と協議し速やかに対応するように委員会として指摘しています。

給食センター改修、改築要望

2月の閉会中審査では、給食センターの視察を行ない、積み出しの際に隙間からハエなど侵入するコンテナの積み出し口や湿度、温度管理設備の不備など、老朽化し耐震基準も満たしていない建物の改築を、業務委託とあわせて、本格的に協議するよう提言しています。



文化・観光の拠点になります（二の丸館）

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 隆信 議員

問 農水産物の加工施設を

答 十分な指導を行い、設置を支援していきます

問 農水産物の価格は、不況の影響を受け大幅に下がり、また不良品は捨てられています。これらの品物を加工して付加価値をつけることにより農漁業の所得を増やし、雇用もできる加工施設を町がつくるべきでは、ありませんか。

農林水産課長 農漁産物の付加価値を向上させ、農家、漁家の所得向上のために加工施設の設置は重要であると考えています。



加工施設を視察しました（武雄市鳥獣食肉加工センター）

農協、漁協やその他の団体から積極的に加工に取り組む意向が示された場合は、十分な指導を行ない、支援していきたいと考えています。

問 財政的支援も含めて支援を行なうのですか。

農林水産課長 まず国、県の補助事業の活用。さらに必要であれば町からの補助金になるうかと思

失業対策

問 国も福祉施設や農業や漁業に力を入れ、雇用を拡大しようとしています。町でも雇用対策室をつくり、独自の雇用対策をしたらどうですか。

商工観光課長 緊急雇用創出事業で関係課13課19事業112名の雇用が確保され、雇用再生特別基金事業で3名。さらに、重点分野雇用創出事業で4名の雇用の場を確保す

るように、事業計画を策定中です。

町は、こうした事業を積極的に活用しながら、労働局やハローワーク、県とも緊密な連携、協力を図って、雇用対策に努めていきたいと思

ボートピア建設

問 豊岡の10号線沿いに建設されようとしています。町に適した施設なのかどうか。町長の基本的な考えを聞きたいです。

町長 各県のボートピアの状況をみると、特段大きい問題は生じてないようにあります。

ただ、地域の皆さん方が一体どういう対応を、まず一義的にされるのか、地域の皆さん方の意向が大半かどうか、ということを見定めながら、町としての方向もしつかり決めていきたい。

的山荘購入

問 的の山荘購入について、所管する産業建設委員会を中心に、各常任委員会に報告したとありますがそういう事実

いつの段階でしたか。

商工観光課長 一番最初は、20年9月の産業建設常任委員会だと思

それ以降、逐一報告はしてきたと思っています。

問 12月議会に出された資金計画は、具体的にどう変わりましたか。

商工観光課長 当初は、県との協議資料であくまで仮定、見込みでつづいたアウトな金額です。

その後、入場料と維持管理費のみの計算をしたときどうなるのかで、別途資料をつくったわけ

問 県から支援を受けるとありますが、具体的にどういう支援を県がやってくれますか。

商工観光課長 東部振興局などで検討していた

だき順次協議を進めています。

現在、庭の調査、今後は、建物の調査が2分の1補助となっています。

問 別棟の中にある所蔵品を町に寄託するとありますが、寄託とはどういうことですか。

商工観光課長 寄託とは、町のほうに預けるとい

いうことで、町がそれを管理するということです。

一般質問

Q&A ここが知りたい

豊岡公園の 道路部分の完成を

問



後藤 佑 議員

答

現状に即応するよう
検討します

問 豊岡公園と町道須崎新田線、道路だけでも先に完了させる計画は。 **都市建設課長** 豊岡公園は平成8年当時、広域かつ多機能な総合公園として計画決定。9年度より計画面積8・7ha、総事業費約25億円の国の補助事業として認可。しかし17年度からはすべての大型事業の見直しをし、国庫補助金の受け入れを差し控えて事業の休止をしています。現在までの

進捗率は対事業費約31%、用地の取得面積は全体の約36%となっています。

今後、用地関係者をはじめ、地域住民の方々の意見を聞き、町財政と住民満足度のバランスが得られるように、国や県とも協議し、整備手法や計画規模を視野に入れ、全体計画の見直しを行いません。

問 買収した土地が虫食い状態であり、周辺地権者への今後の対応は。 **町長** 豊岡公園は17年度から休止状態で今日に至ります。須崎新田線は都市計画道路としては国の制度自身、やや消極的な面がありますが、道路の拡幅や駐車場などに向け、現状に即応するように検討させていただきます。

的山荘の所蔵品の 取り扱い

問

的山荘の所蔵品無償譲渡などの確認を。

商工観光課長

土地売買契約締結の際に、建物等無償譲渡契約書の中に盛り込み締結。別棟の所蔵品も調査、整理し目録を作成します。調査終了



価値ある施設を有効活用します（的山荘）

後、寄託の申し出の希望が出ています。

問

的山荘の委員会で、方向性のやりとりは。 **商工観光課長** 成清記念邸的山荘保存会のこと

だと思えますが、20年11月に立ち上げ、保存、利活用を含め、経費捻出の募金活動をしてきました。今後、公有財産とし、建物の保存、有効活用を図る目標で新たな組織活動

をしたいと思えます。

問

由緒ある的山荘の保存は。

町長 県の迎賓館、大

分に行つたら的山荘と言われる価値ある施設を町民の財産とし有効活用をしていきます。

日出町の 教育現場の実態は

問

大分合同新聞連

載の学校の事件などの掲載に対し、町の実態は。

教育委員会学校教育課長

さまざまな問題が発生していることは事実です。問題解決のため管理職、教職員がその対応に日々努力していますし、教育委員会としても指導や支援を行ない、児童生徒の健全育成に努めていきます。

問 通学路の安全はどうやっていきますか。

教育委員会学校教育課長

各学校、放課後の校外パトロール、地域での老人会、保護者の防犯パトロール、街頭指導パトロールや月1回のあいさつ運動などを区長、教員、教育委員会が連携し子どもたちに声かけをして、見守っています。今後も各校区の安全をしつかり巡視して、子どもたちが不慮の事故にあわないように努めていきます。

質問を終えて

将来を背負って立つ若者のために関係方面と連携し、啓発活動を含め非行防止に努めていきたいと思います。

一般質問

Q&A ここが知りたい



森 昭人 議員

問 暘谷駅の
バリアフリー、
駅周辺整備を急げ

答 J R 大分
支社長に直談判

問 21年6月定例会の一般質問で、「暘谷駅と駅周辺整備は、高校跡地の企業立地と切り離して整備計画を進めなければ一向に進みません。駅舎の移動、自由通路や交通広場の建設、また車椅子では自力で上がれないホームや障がい者が使用できないトイレのバリアフリー化は、まちの振興や観光事業に最も重要な

施策の一つであります」と指摘しましたが、その後の取り組みは。

企画振興課長 駅ホームのバリアフリー化は、J R 大分支社と数回協議を行ないましたが、実現に至っておらず、近々に支社長に直接要望書を提出し、引き続き今後も協議を続けます。また、駅周辺整備は、現在、第2次まちづくり交付金事業で整備計画を作成し、その中で早期実現に向け努力していきたいと考えています。

町長 J R の助役、担当課長さんでは解決できないということ、早い機会に直接支社長にお話ししようかと思っております。ことは非常に迅速を要すると考え、今後とも精いっぱい可能な限り努力していきます。

問 前回の一般質問で同じ指摘をしましたが、9カ月が経過した現在も主だった動きが見受けられません。早期実現にはやはり具体的な目標が必

要です。予算も含め今後の計画は。

企画振興課長 3月中旬をめどに、町としての計画案、暘谷駅をどのようにするかをまとめて、J R と協議を進めたいと考えています。

町長 駅舎改修、駅周辺整備を含めて、まちづくり交付金の対象事業に当たると思います。J R の予算はほとんど期待できず、町が負担する覚悟で協議していますが、それでも様々な規制があり、なかなか話が進まないという事態にあります。

高校跡地は 個別で企業立地

問 20年の公募不調からしても、高校跡地2万㎡の一体的開発はもはや不可能な状況です。道路で分断された東西個別の利活用が現実的と考えますが、企業誘致を含めて今後の具体的な方針と計画は。

町長 町にとって重要

な土地であり、常に慎重に対処してきましたが、理想ばかり追い、いつまでも放置することは許されなと思います。関係者の方々と十分協議していかねければなりません。優良企業の立地希望もあり、22年度の早い時

期に条件が整えば個別的に、1、2企業は立地できないかという方向で考えています。

質問を終えて
J R 協議の困難は周知、熱意を持って粘り強く。



企業立地が待たれます（高校跡地）[平成20年撮影]

一般質問

Q&A ここが知りたい



佐藤 済江 議員

問 日出町の介護保険事業は!

答 安心して安全に暮らせるよう各事業を行っています

問 特別養護老人ホームなど、介護施設の待機者の実数把握はきちんとされていますか。また、特定施設の経済的負担の実態は。

健康増進課長

町内の施設は、随時または機会あるごとに聴取しています。また、経済的負担の実態把握は、施設によって異なりますが、食費、管理費、家賃、介護保険料自己負担金1割を合わせて、1カ月約7万8千



みんなのあんしん介護保険

円から約16万5千円の範囲の利用料と把握しています。

問

認知症を予防し、介護予防で元気な高齢者をつくるための施策は。

健康増進課長

元気な高齢者でも加齢、疾病、環境の変化などのきっかけで生活機能の低下が起り得るため、軽度の時期から早期発見、早期対応を行なうことが重要となります。

町が行なう健診で65歳以上の方には、生活機能評価を行ない、特定高齢

者と判定された方に予防教室を推進しています。また、地域支援事業として、認知症予防教室、転倒骨折予防教室、介護普及啓発事業など、各種の介護予防事業を実施しています。

問

介護保険事業外の福祉施策はどういうことをされていますか。

健康増進課長

環境や経済的理由で居宅での生活が困難な方を対象とした、養護老人ホームへの措置事業、高齢者の自立や介護者の負担を軽減す

るための在宅高齢者住宅改造助成事業を行なっています。また、寝たきりや重度認知症老人を介護している方に支給する老人介護手当などの実施や高齢者学級への参加促進、各種学習の機会の提供を図っています。

問

介護家族や高齢者世帯などに対する相談体制はどのような状況ですか。

健康増進課長

現在、介護家族や高齢者世帯などに対する相談体制として、予防、介護者の健康などに対する相談などを実施し、身体的・精神的・経済的負担の軽減を行なっています。

問

在宅介護の環境整備として、住環境、福祉用具の対応の現状は。

健康増進課長

介護保険事業では、高齢者が住みなれた地域・家で楽しく安全に暮らせるよう、車いすや特殊寝台などの福祉用具の貸与事業、腰掛け便座や入浴用椅子などの福祉用具購入事業、手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修事業を行なっています。また、

高齢者支援事業として高齢者の自立を助け、介護者の負担軽減のための住宅改造助成事業を実施しています。

問

共助によるボランティア活動の推進はどのようになっていますか。

健康増進課長

社会福祉協議会が中心となり、ボランティアの育成に取り組んでおり、今後も地域の団体を中心としたボランティアの育成の推進に関係者と連携し、介護予防に努めていきたいと考えています。

問

介護保険料や利用者負担にどのような意見が寄せられていますか。

健康増進課長

20年度で税制改正を行なう介護保険料の激変緩和措置が終了したため、低所得者への負担軽減と公平な保険料負担を維持するために、6段階あるうちの4段階部分をもう一つ細分化して、基準額に乗じる保険料率を軽減しています。利用料は、住宅サービスや施設サービスの1カ月の利用者負担額が一定額を超え高額になったときには、その超えた分を高額サービス費として支給をしています。

一般質問

Q&A ここが知りたい



城 美津夫 議員

問 豊岡地区の都市計画道路の完成はいつ

答 全体計画について、いち早く道筋をたてていきたい

問 10号線より北側で、東西を結ぶ道路は旧道1本しかなく大変不便で交通量も多く、最近、頻繁に子どもたちがあわやと思われる事故にあっています。問題解決の方策は、都市計画道路の須崎新田線の延長です。そこで現状と今後の方針は。

都市建設課長

須崎新田線は、計画幅員16m、計画延長5300mの都市計画道路です。現状は、川崎の須崎ボ

ンプ場を起点に区画整理内を通り、豊岡団地内まで2720mが改良されており改良率は51・3%になっています。

須崎新田線の未改良区間は、町の全体構想の中で地域の道路網の整備状況や将来都市像の把握を行ないながら、また住民の方々の意向などを踏まえ、整備手法、現在の計画路線でよいのかなどの見直しの方向性の検討を進めていきたいと思っています。

問 旧道は歩道もなく、電柱があり非常に狭く、拡幅は非常に難しいので、都市計画道路であります。都市計画道路でありますが、早急に法花寺線までつなげていく方法は考えられないですか。

町長 当面は町の財政力、あるいは経済などを考えたとき、旧道の拡幅を考えた方がより効果的で現実的ではないかとも思っており、都市計画の見直しを含めて全体的な議論をさせていただいています。

問 日豊線沿いに東西に伸びる都市計画道路の平深田線の今後の計画は。

都市建設課長

この平深田線は、JR日豊本線

と平行した都市計画道路で、計画幅員16m、延長が2680mの路線になっています。

旧国道、豊岡小学校から10号線に抜ける道など、まずは現道部分の改良なども視野に入れた、豊岡地域の道路づくりを、都市計画道路の変更など、全体的な中長期的計画を今後、速やかに着手していきたいです。

豊岡総合公園 計画変更の経過と現状と今後

問 豊岡総合公園の実現が期待されます。伊藤町長の時代に、川崎グランドの要望に対し、豊岡総合公園の後にと答えていたと記憶しています。

川崎グランドも実現したことです。豊岡総合公園の検討をいよ豊岡総合公園の検討をしていくべきと考えます。そこで、計画が変更されましたが、その経過と現状はどうですか。

都市建設課長

豊岡公園は、30数%の用地に協力をいただいております。最大限、今後その豊岡公園をどのような形でやっていくかという中で活用



今後の展開は（豊岡総合公園予定地）

県道日出・山香線 小浦交差点の改良

問 県道日出・山香線の小浦交差点は大変、

変則で危ない。ガソリンスタンドが撤退して空き地になっている今、地元県議と連携のもと、早急に実現してほしい。

都市建設課長

町も事故の多発交差点と認識しており、県に対し交差点の改良をお願いし、県も現地調査を行なうとの回答をいただいております。安全な交差点になるよう、強く県に要望していきます。

一般質問

Q&A ここが知りたい



荒金 啓治 議員

問 豊岡小、検討委員会からの要望をなぜ取り入れないのか？

答 今の設計で皆さん方から十分に評価していただける校舎だと思っています

問 改築事業は町長部局、教育部局のどちらが主導して行なっていくのですか。

教育総務課長 どちらが主導権を取るといふことではなく、お互いの権限の範囲内で協議しながら事業を進めていきます。

問 今後のスケジュールについて。

教育総務課長 昨年の

7月に地元議員、地元関係区長、公民館長、教職員、PTAの役員で構成される校舎等改築検討委員会を設立しました。昨年の6月には設計業者を決定、その後5回検討委員会を開催、委員からの意見を参考にしながら校舎の建設位置と規模を決定しました。3月末までに実施設計を完成する予定です。本体工事は1期と2期に分け、旧校舎を利用して仮設校舎は設けない方針で、22年度と23年度の2カ年で完了します。新年度に入ってから入札をし、9月から工事に着手します。

問 用地の確保や、併設する幼稚園、公民館を同時に計画すべきであるといった検討委員会からの要望や意見に对应していないようですが。

教育総務課長 用地交渉は教育委員会として計5回訪ねましたが、相手方の不在もあつて話がま

とまらず断念しました。校舎は建設から51年経過し、途中大規模改修もしましたが老朽化が進んでいます。耐震性において非常に危険な状態です。今の計画で進めたいと思っています。

問 豊岡小の危険性は、ずっと以前から続いているのです。だから、着工を少し遅らせてでも、再度用地交渉するつもりは無いのですか。

また、課長が行なつても無理なら教育長や町長が出て行く熱意は無いのですか。

町長 現時点で最も理想的な設計の校舎だと思います。用地交渉は私や副町長も含めて、なお引き続き行なつていきますが、用地の取得によって校舎の位置が変更になることはありません。校舎の面積は現状の2000㎡から4階建ての4200㎡になり、グラウンドも3500㎡から4600

0㎡に広がります。さらに、プールが移築できれば6000㎡になります。



待望の建替え工事が始まります（豊岡小学校）

議会構成決まる

3月28日に行われた町議会議員選挙で、当選した議員による初議会として、臨時会が4月14日に開催されました。

就任のごあいさつ

私たちは、4月14日に開催されました議会改選後の初議会である臨時会におきまして、議長並びに副議長に就任することとなり、身に余る光栄に存じます。責任の重大さを痛感し、もとより、微力ではございますが、円滑な議会運営に努め、町民福祉の向上と町政発展を目指し、素晴らしいまちづくりのため、誠心誠意努力してまいります。

さて、国政においては、政権交代が行われ、国策の方針転換など本町を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。その中、町の財政は依然として厳しい状況にあり、さらなる行財政改革を推進していかなくてはなりません。議会も、住民皆様の代表であることを忘れず、議員自ら改革を行い、開かれた議会、住民から信頼される議会となるよう努力をしてまいります。

今後とも議会活動になお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



城 美津夫 議長



後藤 佑 副議長

議長 城 美津夫 副議長 後藤 佑		議会運営委員会 ◎佐藤 克幸 ○森 昭人 町議会の円滑な運営を図るため、議事の運営その他必要な事項を協議します。 熊谷 健作 上野 公則 笠置 久夫 後藤 佑					
◎は委員長 ○は副委員長							
総務常任委員会 ◎森 昭人 ○安部 三郎 笠置 久夫 佐藤 隆信 工藤 健次		産業建設常任委員会 ◎熊谷 健作 ○白水 昭義 佐藤 克幸 後藤 佑 藤井 博幸		社会厚生常任委員会 ◎上野 公則 ○佐野 故雄 佐藤 二郎 田原 忠一 池田 淳子		予算常任委員会 ◎笠置 久夫 ○田原 忠一 議長を除く 15名で構成	
別枠速見地域広域市町村圏事務組合議会議員 笠置 久夫 佐藤 克幸 城 美津夫 佐藤 隆信 後藤 佑 池田 淳子		杵築速見消防組合議会議員 佐藤 二郎 熊谷 健作 白水 昭義 森 昭人 田原 忠一 安部 三郎		杵築速見環境浄化組合議会議員 佐野 故雄 白水 昭義 上野 公則 森 昭人 工藤 健次 藤井 博幸			
大分県後期高齢者医療広域連合議会議員 佐藤 二郎 大分県下の市町村で後期高齢者医療業務を共同処理するために組織している連合議会。		議会報編集特別委員会 ◎森 昭人 ○池田 淳子 熊谷 健作 上野 公則 工藤 健次 藤井 博幸		★議会から選任する監査委員 上野 公則 町長から、選任についての議案が提出されました。			

町民の 声

「老後を託す地域へ」

川崎地区 成行区長 安部 順 治



日出町に生まれて育って70有余年になります。その間仕事の都合で県内を中心に転勤して県外でも生活しました。定住の場所を求めて大分市内、その周辺の地域も随分探しましたが、生まれ育った日出町が一番と思えて30年程前に現在地に住居を決めました。

日が経った今でも日出町の選択は正しかつたと納得しています。地元であり友だちも多いことも否めません。幾度も転居すると解ることですが、何より気候が温暖で、自然環境に恵まれ海と山にも近く、新鮮な産物も豊富で溢れ、水の美味しさはまた格別で、他には余り類のない住宅環境が備わった地域と考えます。大分、別府の通勤圏で交通の便は良く、大分市などの利便性には及びませんが、住むには申し分ないと考えます。大分市に次いで人口増加している町というのも頷けます。財政の厳しいなかでも将来に向けた社会基盤の整備に力をいれて、少しでも住みよい町づくりのために人口、世帯の増加に繋がる施策が地道に行われ、今後も着実な人口増加が期待出来ると考えられます。自然環境の恵みに加えて田舎の素朴な人情と思いやりの温かさが発揮できれば近い将来に人口3万も遠くないと考えます。私も区のお世話を5年程しておりますが、この様な機会は滅多に無いので、私の住む地域の紹介をしましょう。160戸余りの小規模な自治区ではありますが、先輩区長の努力もあり地域密着の一環としてホテル観賞会が毎年行われています。今年も6月上旬に12回目を予定しています。成行にホテルがあるの？と皆が不思議に思われます。会下の国道筋よりちよつと成行寄りに窪地があり山と

水田の境に沿った小川に毎年平家ホテルが飛び交います。近年は青竹ボンボリを道路に設け、暗い夜道にロウソクの明かりを灯して好評です。家族づれ、親子づれで初夏の宵の楽しい時を過ごします。ホテルの現況以上に成行のホテルは近隣ではかなり有名になりました。その後昼間には健康フェスティバルと題して健康で長生きのための講話、健康的な献立表および調理法、試食も用意した健康教室で、一段と充実した一日となり、この催しも8年目になります。

この一切を地区のボランティアで行い、幸いにも保健所、管理栄養士、看護師の職業の方にも協力を頂き好評に開催されています。今述べた二つの催しは午後より夜にかけて10年余り毎年継続し、今なお好評で地域に無くてはならぬ地域の最大行事として盛んです。この様な催しで地域作りに取り組んだ先輩たちに感謝しています。

次は私たちが、いざ老後を託す憩いの場所です。次から、今後の地域づくりを考え、皆の力で、地域のために何が必要か、何ができるかなどを真剣に考えて目標を決めなければなりません。先輩が残した地域づくりを継承し学びながら、私たちの思いも合わせて結論は区民が共感を呼ぶもので無くてはなりません。まず自分の足元より地域づくり、人づくりに真剣に取り組めば成果は時間と共に周囲に広がりをみせ、老後の安心も期待できます。豊かな自然環境は安らぎには充分で、併せて地域住民との交流や趣味の交遊の中から潤いを得て、老後の生活には一段と希望が湧き、生き甲斐の増す様な地域を目指したいと考えてます。

議会の 今後の予定

6月 10日 定例会(初日)

14日 定例会

(議案質疑・一般質問)

15日 常任委員会

16日 常任委員会

17日 常任委員会

21日 常任委員会

22日 議会報委員会

24日 定例会(最終日)

編集後記

任期満了に伴う改選のため、80号の発行がひと月遅くなったことをお詫びいたします。今期から編集委員は、

総務、社会厚生、産業建設の各常任委員会の委員長が必ず所属することになり、1期生議員3人(編集委員になることは新人議員の登竜門)とともに、また新たな気持ちで今年一年間、頑張つていきます。これからも町政や議会を少しでも知っていただくために、委員全員一生懸命取り組んでいきますので、引き続きご愛読いただきまして心からお願いいたします。

(森 昭人)

編集委員長 森 昭人

副委員長 池田 淳子

委員 熊谷 健作

委員 上野 公則

委員 工藤 健次

委員 藤井 博幸

議会を 傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。

あなたの身近なことから始めませんか。簡単な手続きで、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。